

BEN STYLE

第240号

BenHouse

(記事はあくまでも個人の私感でございますので
悪しからず。)

www.benhouse.co.jp

五島列島
路線バスの旅

社長 尾上大輔

先日、同業者の会合で長崎へ出張がありました。長崎のイシマルさん見学・長崎くんち見学と楽しくすごし、金曜日朝解散でした。金・土・日・祝と4日間急いで戻るなんて『アンビリバボー』金曜日は池島炭鉱へバスで2時間、船で30分で到着。いわば軍艦島ツアーに似たりです。こちらは坑内に入ったり、廃墟群を探索できるツアーの2本立てで3700円。池島炭鉱は2001年まで営業していた最新の炭坑でありまして、その会社の人々が案内ツアーをして下さる。まずは

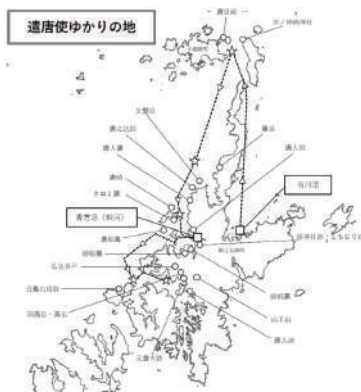


会議室で説明を受け、ヘルメットとランプをつけてトロッコで坑内へ。どうやって石炭を掘るかを色々レクチャーいただく。暗い坑内探検が終わったなら、続いてワゴン車に乗って島内を案内いただく。大きさは軍艦島の7倍で炭坑住宅、娯楽施設、学校、浴場等の施設は当時最先端でありました。人口は最盛期で7000人。今も100人が住んでいるが、施設は廃墟化が進んでいます。8階建のマンションのような炭坑住宅も今や緑におおわれた廃墟です。一見するとラピュタの様な風景が広がっています。廃墟系YOUTuberの無断侵入も問題になるほどレトロな光景が広がっている。一部の部屋も案内いただいた。昭和で時が止まっているその部屋から屋上へ上れます。そこから見える風景は緑が建物を取り囲みラピュタ感満載であります。軍艦島より緑が多い。住居も3DK位で、家賃1000円だった。

ちなみに軍艦島は1Kで子供は押し入れに寝ていたのとは違い余裕でした。マイカーも持っていたとか。なんせ炭坑は収入は良かったので、炭坑を渡り歩いた人も多かった。その終焉が池島炭鉱でありました。皆様も是非行ってみて下さい。池島港より西海市へ戻り、ここからが大変。西海バスのバス停でバス待ち。本当に最終便のバスが来るかどうかで30分ドキドキ。大島行へ乗る。大島からは船で佐世保へ、20時到着。本日は佐世保泊り。ホテルへチェックインして、さあ夜の町への所だが、ハードな移動で、佐世保おでんのみで、おこうさん。明日にそなえて早めの就寝。翌朝8時のフェリーで上五島へ、3時間で有川港到着。ホテルはとったが、あとはノープラン。まずはコインロッカーに荷物を入れ



て、観光案内所をのぞく。『バスで観光ですか？』『1日1本、頭ヶ島教舎へ行って帰っての便があります。』『なよ』『そっそれでお願いします。』『なんせ世界遺産へ行けるならええやん。』現地で30分見学が出来るらしい。それと翌日には遣唐使の足跡をたどるツアー開催とかの情報もいた。翌日9時集合で船で回ってくる。1日コースでなんと1000円すごいでしょう。文化庁からの予算で船をチャーターしているとか。100人の中に割り込んで入れてもらえてラッキー。遣唐使は上五島より上海を目指したので、補給とか最後の祭祀とかの上五島でして、空海最澄もここから旅だったそう。当日小値賀島、野崎島とめぐり、沖の神島神社等を海からながめる事が出来まし。その船では解説員の方から遣唐使の



お話も聞けて大変満足。なんといっ
てもレンタカーなしの大ちゃんに
とっては船のツアーは最高でありま
した。それに味をしめた大ちゃん、
なんとか上五島から船で島づたいに
辿る方法はないかいなと、また観光
案内所で…何と上五島の人が福江港
(下五島)へ行く方法が一つだけあ
るとな、郷ノ首港7時50分の船で
若松島、奈留島経由で福江島まで行
けるゴールデンルート発見。うむう
む、そこでバス旅ちゃんなので朝7
時のバスで港へ7時44分到着。乗
り遅れなければ福江港に9時30分
につく。これって高いお金払って観
光船に乗らなくても若松大橋も見れ
る最高のシールートです。あとは朝
早く起きるだけです。バス停には
6時30
分到着の
慎重さで
バスを待
つ。途中
渋滞等は
ないのだ
がドキド
キです。



寅さんのロケ地、
青砂が浦天主堂

なんせ1日
1本コース
は気を遣う
ね。郷の首
港へは少し
遅れて到着
したが、そ
れは現地



ルールでバスから乗り替えたら出発
だそう。『こっちではそんな事知ら
んやん』とあせったなあ。まだま
だ現役で仕事をしている者の性か。
『明日も船は出るで』の感覚を持て
ず、いまだ修行中の若造です(寅さ
ん風)。そうそう昨日は寅さんのロ
ケ地青砂ヶ浜教会へもバスで往復い
たしました。あと玉之浦の2カ所が
ロケ地でした。こちらは遠いので無
理でした。五島へ行くこうと思った
きっかけは寅さんとポンシヨウの宿
でのケンカの場合。窓の外に見える
福江島のキャバレーのネオンからで
す。いつか行ってみたいの願望から
本日があります。今の五島は寅さん
の様な昭和の賑わいは感じられな
かったが、自分の昭和時代をなつか
しむことが出来て幸せでした。今日

は福江の町を観光。長崎までは
ジェットボートで、そのあと新幹線
で一路姫路だ。ジパングの切符を初
めてつかう。20%引だがのぞみに
は乗れません。新鳥栖からさくらで
姫路へ。新鳥栖のかしわうどん(駅
構内にある)、食べたかったなあ。
最終ならあと3時間はねばれるが、
近頃は寄る歳には勝てず。体力を温
存明日は会社やからなく。次は対島
と志岐をめざします。ここも寅さん
のロケ地(松坂慶子編)です。めで
たしめでたし。

栃木営業マンの おすすめスポット

営業 栃木陽紀

10月の三連休に、山口・福岡・広
島を巡ってきました。初日は下関の
唐戸市場へ。唐戸市場を訪れるのは
実に6年ぶり、今回も市場で食べ
られるお寿司を楽しみに訪れまし
た。唐戸市場は週末のみ『馬関街(ば
かんがい)』と呼ばれるイベントを
行っており、市場で様々なお寿司を
買ってそこで食べるのができま
す。おすすめはマグロです。マグロ

の鰻肉、脳
天、トロな
ど様々な部
位のネタが
あり、どれ
も絶品でつ



いつい食べ過ぎてしまいました。そ
のあとは関門海峡を渡って門司港
へ。夕方には建物がライトアップさ
れていて、レトロな街並みがとても
きれいでした。二日目は広島市内を
散策。広島名物のお好み焼きをいた
だきました。お店は40分ほど並び
ましたが、並ぶ価値のある美味しさ
でした。目の前の鉄板で焼かれる香
ばしい匂いが食欲をそそり、心もお
腹も満たされました。最終日は下
瀬美術館と瀬の浦へ。昔ながらの町並
みが残る静かな港町で、時間がゆっ
くり流れているように感じました。
旅の締めくくりは海を眺めながらの
温泉。と
ても充実
した旅に
なりまし
た。

